令和６年度第２回山形市働く女性の家運営委員会議事録

<table>
<tr><td>開催日時</td><td colspan="2">令和７年３月 26 日（水）　午後３時００分から午後４時００分</td></tr>
<tr><td>場　　所</td><td colspan="2">山形市福祉文化センター（東部公民館）　３階学習室Ｂ</td></tr>
<tr><td>出 席 者</td><td colspan="2">委員９名
新関委員、植田委員、佐々木委員、土屋委員、石山委員
石塚委員、遠藤委員、佐藤委員、高橋委員（欠席：山口委員）
事務局５名
石井所長、三浦副所長、軽部係長、沼澤職員</td></tr>
<tr><td>傍 聴 者</td><td colspan="2">なし</td></tr>
<tr><td rowspan="2">内　　容</td><td colspan="2">１　開会
出席委員が過半数を超えていることから、山形市働く女性の家設置及び管理に関する条例施行規則第８条第２項の規定により、会議が成立することを報告。また、山形市情報公開条例第２９条の規定により、この会議は公開によって行われる。
２　委嘱状交付（人事異動に伴う）
３　部長あいさつ
４　委員及び職員紹介
５　委員長及び副委員長選任
６　委員長及び副委員長あいさつ
７　審議（議長：新関委員長）
山形市働く女性の家条例施行規則第８条第１項の規定により「委員長が会議の議長になる」ことが定められている。

（１）令和６年度山形市働く女性の家事業計画（案）について
資料に基づき、事務局より報告

主な質疑は次の通り</td></tr>
<tr><td>議長

植田委員

事務局

土屋委員</td><td>事務局より説明があった事業内容を参考に各委員からご意見や質問を伺いたい。
３ページを見せていただきますと概ね定員を上回る申し込みがあり非常に盛況だった様子が伺えました。なお、メイク講座のところが新規と書かれていますが、これは中身が変わったものだったのでしょうか。それから、８ページのアンケートまとめで非常に細かい分析をされていると思うのですが、年代別の分析がお見受けできないので興味があるところです。また、PR 広報の分析を見ますとやはり広報山形が根強いのではないかと思いました。
まず３ページの上から三番目メイク講座が新規となっておりますが、継続の誤りです。年代別の集計はおっしゃる通り記載しておりませんでした。
次回からはしっかり数値として示すようにいたします。
内容につきましてはマンネリにならないように新規と継続の講座などを今回は非常に中身の濃い物を入れていただけたのだと有難く拝見させていただきました。前回の時には土曜日の午前</td></tr>
</table>

		よりも午後の方がいいのではというお話がありそこも組み入れて開催して下さったと思うのですが、アンケートの内容からすると午前中でも全然問題ないなという事が浮き出てきた感じがありました。一つ問題として出していただいたヨガ講座の若年層の参加か好ましくないとあげられていたのですが、ヨガじゃないとすると、ピラティスとかジャズダンスとかそういう HOP な若者が参加しやすい物を開催した方がと考えました。 若年層をどういう風に集めていくかご意見を伺いたい。
	事務局	土曜日の話ですがおっしゃる通り土曜日にも午前と午後の講座がございまして、午後の講座も大変好評でありました。 また年代の話ですが、SUP 講座やメイク講座に関しまして、今回先生と若い感性で打合せさせていただいたので継続ではありながら、中身はより現在的な事をさせていただいたつもりではあります。また、コピー講座に関しましても、年齢層が低めの方が集まっていただいたという事がございまして大変好評だったので来年も継続していきたいと考えております。
	佐々木委員	私はいくつかの講座を見学させていただいて、講座の参加者同士が交流して楽しむ姿がとても印象的でした。 気になったのが２つあって、３月という皆さん忙しい時期に講座が 2 つ重なるという日程にどうしてなったのか気になりました。また、平日開催の講座が何個かあって、日中だと参加者が比較的多いように感じますが、メイク講座はなぜ夜間の開催になったのでしょうか。
	事務局	今、日程と時間のお話をいただきましたが、私共といたしましては、自分たちが忙しいから講座をやらないというのは無しにしようという話し合いがあり、また講師の方との日程の調整でこのような時期の開催となりました。メイク講座に関しましては若い方が仕事終わりに参加しやすいように平日の夜間に設定させていただきました。
	髙橋委員	アンケートの中身なのですが、新規実施・継続実施で判断するよりも参加者の方の満足度（良かった・悪かった）などそういったデータをお持ちであればそちらを参考に実施していく手もあるのではと思いました。また、昨年の四月に J-FLEC というものが立ち上がっておりまして、物価高の環境下で金融の講習ですとかお子様の金融の教育なども含めて、県の銀行協会と連携したセミナーなども需要があるのかなと思い、ご検討いただければなと思います。
	石山委員	これだけの講座をされていて、参加者も多く非常に良い講座だったと感じました。また、ちょっとお聞きしたかったのが、アンケートってずっと同じものを使われているのでしょうか。何人かの委員のお話にもあったよう属性についてあったらいいなと思いますし、髙橋委員がお話になった満足度も数値で表していただけると、より委員の方からのご意見をもらえるのかなと思いました。またメイク講座など若い方は今 YouTube など動画で見てしまうので来てやるという事がないという話をしている

		とアンケートから出てきた結果が新しい企画につながるのではないかと思いました。
	石塚委員	先程石山委員おっしゃられたと思うのですが、若い人に参加していただくのは山形市に限らず、問題視されているという事と、世代によって興味あることが変わると思うのでこの講座はこの世代を対象に開催するなど様々な世代に対応した講座を開催していただきたいなと思います。
	遠藤委員	男女共同参画センターで行う講座でも運営委員というのがありまして、広報やまがたは若い方はほとんど見ないという事があり、広報手段は色々考えて SNS でいろいろしているところがございます。それでもなかなか若年層には届きづらいので若者に届くいい方策があればこの場を通してヒントを得られたらなと思います。また、東部公民館との共催授業が何個かあると思うのですが資料に記載されているのは単純に女性だけの人数が記載されているのでしょうか。
	事務局	こちらの人数はすべて女性の人数となっております。集め方としては男女別々何人という集め方ではなく男女合わせて何人という集め方でしたので結果的に定員は参加された女性の人数という形になりました。
	佐藤委員	今回は幅広い分野にまたがって講座を開催しており、アンケートを見ますと「リラックスできた」とか「中々体験できないことが出来て良かった。」などたくさんあったので、充実した講座だったと感じました。先程石塚委員からもお話あったと思うのですが、対象者をきめて事業を行っていたのかお聞きしたいのと、最終的にどういった世代の方が参加されたのか気になるので資料に入れていただけると参考になるのかなと思いました。
	事務局	世代間ごとの目標というのは特に定めていなかった。来年度以降はどこの世代を狙って何を目的として実施するかを明確にして設定していきたい。また、世代ごとの集計も数値として明確に示していきたい。
	議長	皆さんのご意見から世代ごとの数値を表してほしいとありましたので、是非来年度は入れていただきたいと思います。また、出てきたワードといたしましては、金融リテラシーとかヨガよりはピラティスなんじゃないかとかそういったところもポイントとして欠かせないワードだったと感じます。また、今の方は何でも YouTube をご覧になるという事で例えばメイク講座でしたら、「YouTube ではわからないあなた自身のメイク」など様々なポイントをピックアップしていただいて次年度の講座に活かしていただきたいなと思います。 それではほかに何か言い忘れた点などある方はいらっしゃいますでしょうか。
	佐々木委員	若者に響く方法という事で少し思ったのが、今結構動画を通じて広報というのがすごく有効化なっていて、Canva だったり OBS だったり有料になるが Adobe だったりすごく色々自分のパソコンで手軽に動画制作できるソフトがいっぱいあるので、そうい

	事務局	った手法を取り入れて動画を通して広げていくのはどうかと感じました。 ご提案ありがとうございます。動画の発信について山形市でもやってはいますけれども、働く女性の家での PR でどういって形で使えるのか著作権を通しながら可能であれば来年やっていきたいと考えております。
	（２）その他 事務局　特になし 委員長　第２回運営委員会の開催時期は、例年２月くらいに開催している。事務局と日程を調整し改めて皆様にご連絡する。 審議終了 ７　閉会	